

トップメッセージ

～2022年度振り返りと2023年度 創立10周年に向けて～



株式会社ウェイアンドアイ
代表取締役
馬橋 和弘
Kazuhiro UMAHASHI

ウェイアンドアイは2014年6月に創業し、おかげさまで9期が経過しました。
「人と組織のハピネス最大化」の企業理念を掲げ、クライアント企業・組織の「ハピネス経営®」推進のご支援に邁進した9年間でした。
企業として順調に成長し続け、10周年を迎えることができたのも、ひとえに弊社を選んでくださったクライアントさま、パートナーの皆さまのおかげです。
あらためて御礼申し上げます。

このたびは、ウェイアンドアイの2022年度の振り返りと2023年度の施策についてまとめていきたいと思っております。
2022年は以下の3施策に取り組みました。

- ①「理念共鳴から現場成果までをつなぐ」ハピネス経営®のサービス提供を拡大
→コロナ禍においてオンライン研修に軸を置き、サービス提供を大きく拡大。
社員のハピネスは経営成果と密接に連動することを確信できた1年でした。
また、オンライン研修でリアルの集合研修以上に成果向上事例が続出したことは大きな自信となりました。
- ②日本国内でサステナビリティ・マインドセットプログラムの提供を開始
→開発者のイザベル先生のご支援のもと、日本版を作成し、国内初のトライアルコースを開催。
予想を超えた反響があり、企業・団体で本コースを導入いただけました。
また、推進者であるインドネシアのアメリア先生を日本にお迎えし、ウェイアンドアイフォーラムも開催できました。
- ③サステナブル・ハピネス経営協会™のスキームを確立
→事業のスキームと共に、メインプログラムを確立できたことは大きな収穫でした。
9期目である2022年度に本施策に取り組み始めたことは、創立10周年に向けた飛躍の源泉となりそうです。

創立10周年を迎える2023年度は、以下の3施策に取り組みます。

- ①街・企業などのサステナブル成功モデルづくり
- ②サステナブル・ハピネス経営協会™をプレ始動
- ③ウェイアンドアイ創立10周年記念イベントの開催

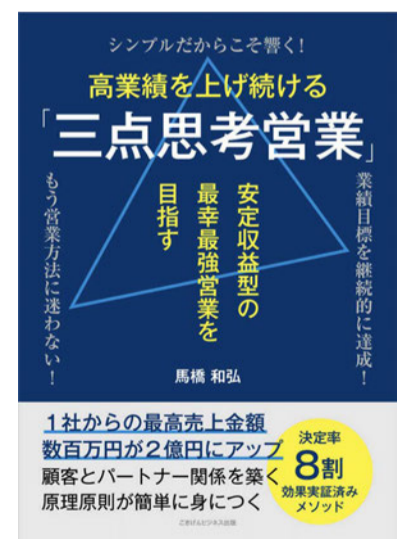
今年度も、ハピネスあふれる人と組織、世の中への貢献に向けてパートナーの皆さまと邁進してまいります。

個人としては、2022年は『高業績を上げ続ける「三点思考営業」安定収益型の最幸最強営業を目指す』を出版。
Amazon部門別ランキングで2位を獲得できました。多くの方に購読いただけて、とてもうれしい1年でした。

2023年度は、10周年イヤーの節目として、「ハピネス経営®」の各種サービスを体系・標準化に取り組みます。

*「ハピネス経営®」は株式会社ウェイアンドアイの登録商標です。

馬橋和弘 略歴
200社を超える組織開発・人材開発企画を支援。企業理念共有・浸透、次世代幹部養成、
営業・サービスなど実務成果にこだわり、実践的な分野に強み。
日本プロフェッショナル講師協会 上級認定講師。



電子版: <https://amzn.to/3vDxzg5>
オンデマンド本: <https://amzn.to/3vF7ddM>